

# GOGO NEWS

# すいた市議会報告



No. **9**  
2007.March

吹田市議会 すいた市民自治 いけぶち佐知子  
〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号  
TEL:06-6384-1231 (代表)FAX:06-6387-4861  
E-mail: gogo@net.email.ne.jp  
URL: http://www.すいた.net/

## 目次

### 行動すれば、きっと変わる

- 5つのポイントで市民と一緒にまちづくり (1)
1. 子どもも大人も、女性も男性も一人ひとりが大切にされる社会を (2)
  2. 安心して子どもを産み育て、安心して老いることのできる地域を (2)
  3. 行政主導のまちづくりから市民が真ん中のまちづくりへ (2)
  4. 環境・歴史文化と共生し、都市景観を“育てる・創る”持続可能なまちづくり (3)
  5. 市民の目線で行財政の無理・無駄チェック (3)
- まっすぐ向き合い、まっすぐ行動 (4)  
いけぶち佐知子8年間の議員活動・提言がこんなふうになりました。 (4)

39,000部発行

## 5つのポイントで 市民と一緒に、まちづくり。

自分の住むまちを居心地よく——誰もが願うことです。しかし、それは誰かが実現してくれるわけではなく、一人ひとりの思いと行動が必要です。いけぶち佐知子は、地域をよりよくしたいと願う人と人をつなぎ、その思いを議会に届け、実現に向けて、次の5つをポイントにまっすぐに取り組んでいます。

Point

**1**

### 子どもも大人も、女性も男性も一人ひとりが大切にされる社会を

お互いの違いを認め合い、それぞれの立場を尊重し、当事者の意見を施策に活かした市民サービスの充実と、命を大切にする社会をめざします。

Point

**2**

### 安心して子どもを生み育て安心して老いることのできる地域を

世代間交流で助け合いの心を育て、地域で支えあう地域福祉の充実をめざします。一人できることは一人から、一人できないことはみんなで支える、いつまでも安心して暮らせる地域をめざします。

Point

**3**

### 行政主導のまちづくりから市民が真ん中のまちづくりへ

市政や議会情報の提供、市民参画と協働のまちづくりサポートを行います。まちづくり協議会など市民が主体のまちづくりに積極的に取り組むとともに、地域情報の共有化にも取り組んでいます。

Point

**4**

### 環境・歴史文化と共生し都市景観を“育てる・創る”持続可能なまちづくり

開発一辺倒のまちづくりから、今あるものを大切に、地域の環境と歴史文化を活かしたまちづくりをめざします。さらに、みんなで“育てる・創る”都市景観をめざします。

Point

**5**

### 市民の目線で行財政の無理、無駄チェック

財政危機を乗り越えるため、行政情報の積極的提供や説明責任を求め、施策や予算立案過程から市民がチェック・選択・評価できるしくみづくりをめざします。公正で透明な行政執行を求めるとともに、議会への市民参加と透明性アップなど、更なる議会改革に取り組めます。



行動すれば、きっと変わる。



## 1. 子どもも大人も、女性も男性も一人ひとりが大切にされる社会を

### <子育て現役の母として>

いけぶち佐知子は、現役の子育て中の母として、議会で発言できるというメリットを最大限発揮したいと思い活動してきました。

私たちのまち吹田市では、まだまだ子どもは施策の対象者でしかありません。議会質問では、一貫して「子どもの人権オンブズパーソン」の設置、まちづくりに子どもたちの意見が反映できる仕組みや「青少年育成計画」に子どもたちの意見が取り入れられることを提案してきました。育成計画策定過程で子どもたちのアンケート調査、そして高校生によるパネルディスカッションなどを通じての意見表明が行われました。また、山田駅周辺まちづくり懇談会での公園を考えるワーキンググループ、青少年拠点施設構想策定、千里山佐井寺図書館建設時に近隣小学生に図書館への思いを調査など、まずは一つ一つの積み上げができてきました。

### <子どもの気持ちに寄り添っていきたい>

これからも大人から見た子ども像だけではなく、子どもたちの気持ちに寄り添って発言していきます。そして、子ども自身が自らの声を伝えられる仕組みを実現していきます。

## 2. 安心して子どもを産み育て、安心して老いることのできる地域を

### <産みたくなる社会、育てられる環境>

柳澤伯夫厚生労働大臣が1月27日、松江市内で開かれた自民県議の決起集会の講演で少子化問題にふれた際、女性について「産む機械、装置の数は決まっているから、あとは一人頭で頑張ってもらうしかない」などと発言したとのこと。

少子化についてわかりやすく説明するために使った言葉だとのことですが、少子化の原因は女性が子どもを産みたくなる社会かどうか、産んでも育てられる環境があるかどうか、というところに不安があるからではないのでしょうか？その不安を解消させることなく、子どもを増やそうとしても無理な相談です。また、少子化社会の説明のために、女性=人間を装置や機械に喩えるのは間違っています。もしも女性が子どもを産む機械や装置であるなら、男性は何だということでしょうか？自分のことを機械に喩えられて喜ぶ人がどこにいますか？

### <互いに助けあう地域づくり・制度づくり>

政治家は、言葉を吟味して、瞬時に一番適切な言葉を判断して使わなければなりません。自分の意見、思いを相手にきちんと伝えられるか？誤解を生む表現ではないか？だれかを傷つけるような言葉ではないか？相手の心に響く言葉か？・・・常日頃から、人並み以上にこれらのことを考え、気遣いながら言葉を発するべきです。いけぶち佐知子は、子育ても介護も互いに助け合いながらサポートしていける地域づくりと制度作りに今後も頑張っていきます。

## 3. 行政主導のまちづくりから市民が真ん中のまちづくりへ

### <直談判から始まった>

市長室に乗り込んで直談判した結果、実現した山田駅周辺まちづくり懇談会から端を発し、市民・行政・事業者が同じ場で一堂に会してまちづくりについて話し合いを進めるようになってきました。

現在は千里山駅周辺、南千里駅周辺、東部拠点、南吹田地区においてまちづくりが進行中です。いけぶちは千里山駅周辺まちづくり懇談会の一メンバーとして参加し、世話人会や提案作成の作業部会にもかかわってきました。

### <試行錯誤が成功につながっていく>

「協働のまちづくり」といっても、その実態は行政に頼りたがる市民がいたり、市民とひざ突き合わしての話し合いに慣れない事業者がいたり、つつい口や手を出しそうになる行政がいたり、まだまだ発展途上です。しかし、やってみなければ、発展も成功もありません。たとえ失敗したとしても、失敗から学ぶことはたくさんあります。今後も市民が真ん中のまちづくりのためにいけぶち佐知子は頑張っていきます。

## 4. 環境・歴史文化と共生し、都市景観を“育てる・創る”持続可能なまちづくり

### <緑豊かな土地が売却されても>

毎日放送千里丘放送センターの敷地が毎日放送の事情により売却されました。千里丘には企業グラウンドや社宅など広大な敷地を持つ企業施設があり、緑豊かな見晴らしの良い丘陵地でした。しかしここ数年、順次企業用地が売却され、大型マンションや戸建て群に建て替わり、緑豊かな斜面やオープンスペースが一気に減ってきました。つい最近も野生のキツネが住んでいるという日本生命社宅用地も売却されました。企業用地が売却されていくのは世の流れなのかもしれませんが、今まで千里丘の景観を下支えしてきたこれらの緑多い用地が一気に無くなり、効率優先の建物群に変わっていくのは、素直に受け入れる気持ちになりません。

### <受け継がれるものがある持続可能なまちづくり>

すっかり取り壊され、全く別のものができるのではなく、これまでの風景、自然、緑地、景観をできるかぎり受け継ぐものを残す、あるいは創るべきです。これからも、いろんな場所で、古いものが新しいものに替わっていくことでしょう。でも、変えてはいけないものがあります。変えてはいけないもの、受け継ぐものがあるまち、それが住む人、訪れる人から愛される、親しまれるまちです。いけばち佐知子は、持続可能なまちづくりを目指していきます。

## 5. 市民の目線で行財政の無理・無駄チェック

### <隠された財政危機に気づいたときは遅かった>

国の補助金漬けになっていた夕張市も、市民一人ひとりがそんなに贅沢をしていたという意識はほとんどなかったと思います。行政も今思えば・・・というところがあっても、これほどまでになると思っていたのかどうか？もちろん、家庭の家計とは違い、小さい市とはいえちょっとした財政運営のミスから生まれた財政危機の芽は、あつという間に大きくなっていくのは当然のことです。

「ゆで蛙」の例もあるように、大丈夫かなと思いつつも徐々に財政赤字は大きくなり、お尻の火が大火事になっていくことに気づいたのでしょう。国は国で景気回復のため、「起債をしても最後は国が面倒を見るから」という甘い言葉を巧みに使い、それを信じた自治体が今アップアップ言っている状況です。

### <お財布と中身を公開、チェック>

吹田市も国からの地方交付金をもらっていない不交付団体だと、今までは胸を張っていますが、そのまま不交付団体を続けていける確約はありません。むしろ、入ってくるお金が少なくなっても大きなお財布を使い続けているうちに、入金額にあわせてお財布を小さくすることを忘れてしまって、こんなはずではなかったということになるのではないのでしょうか？

今すでに計画に上がっているものだけでも、東部拠点のまちづくり、南千里駅周辺、千里山駅周辺、南吹田、山田駅前の公共施設建設・・・と数多くあり、また、すでに焼却場の建て替え工事は始まっています。

今後、建設にかかる当初費用だけでなく、メンテナンスや管理などランニングコストも想定し、起債額（借金の額）が大幅上昇しないよう財政計画を立てて進行管理しなければなりません。いけばち佐知子は、これからも財政状況の公開と説明責任を行政に求めるとともに、チェック機能を果たしていきます。



### いけばち佐知子は・・・

- 8年間休むことなく議会ごとに質問を行い、議会報告を年4回発行、通算100万部以上ボランティアさんのご協力も得て配布しています。
- 市政・議会情報をリアルタイムで伝えるG o G o通信（メール通信）を毎週2回発信し、通算300回を超えました。
- ホームページで情報公開と報酬会計公開、ブログで日常の活動報告を行っています。
- 事務所1階にまちかどサロンを開設し、地域活動に開放しています。

### お詫び

市議会報告No. 8の2ページに掲載しました後期高齢者医療制度の開始年度を間違えて記載してしましたので、ここに謹んで訂正とお詫びを申し上げます。

(誤) 平成21年度(2009年度) → (正) 平成20年度(2008年度)



# まっすぐ向き合い、 まっすぐ行動。



## いけばち佐知子のプロフィール

1957年、和歌山県生まれ。大阪大学薬学部卒業。  
 薬剤師。製薬会社研究室勤務を経て、出産後は  
 在宅ワークで化学文献翻訳、医療環境ライター。  
 1994年、吹田市立女性センターに再就職、ユニ  
 ークな講座の企画で人気を呼ぶ。社会教育主事  
 資格を取得。1999年1月退職。吹田市千里山高  
 塚在住。5人家族（夫、3人の息子）  
 1999年4月 吹田市議会議員当選  
 2003年4月 吹田市議会議員当選（二期目）  
 現在●大阪大学薬友会評議員●吹田市薬剤師会会  
 員●アジェンダ21すいた幹事●千里山まちづくり  
 協議会理事●地区連合自治会副会長

## 向き合う

### 「まちかどサロン」で市民と交流



事務所ビルの1階に「まちかどサロン」を設け、交  
 流や意見・情報交換の場とし、市民の方々の声と  
 まっすぐに向き合っています。

## 行動

### 大きな楠を残すために



図書館の敷地から道路予定地にはみ出していたため、  
 切り倒されることになっていた大きな楠。  
 「歩道と敷地を一体化させて、この楠を残そう」と  
 提案し、みんなの力で実現しました。

## いけばち佐知子8年間の議員活動・提言が こんなふうになりました。（抜粋）

- 吹田市住民基本台帳の閲覧の制限に関する条例の制定（大量閲覧の抑止）
- 吹田市男女共同参画推進条例の制定
- 乳がん検診へのマンモグラフィー導入
- 学校の多目的室・特別教室の地域活動への開放
- 千里山・佐井寺図書館建設のための市民会議設置と図書館協議会の設置
- 開発指導要綱の条例化
- 風致地区内の景観保全
- 審議会等会議日程の公開、審議会等市民委員公募
- 市役所アルバイト職員採用の透明化、公募と登録システム
- 総合計画や次世代育成支援行動計画など進捗状況チェックの仕組み
- 各課のメールアドレスの公開と市役所の電話ダイヤルイン
- 水道料金体系の見直し改正

## いけばち佐知子事務所 **OPEN**

毎週月～金曜日 いずれも10時から16時まで

〒565-0851 吹田市千里山西5-2-5アクネビル2F

TEL06-4861-7418 FAX06-6387-4861

E-mail : gogo@net.email.ne.jp

HP URL <http://www.ne.jp/asahi/gogo/net/>

ブログURL <http://blog.goo.ne.jp/gogonet21/>

市政相談も受け付けています  
 お気軽にお越しください

